

愛媛県西予市における「高校生向け独占禁止法教室」の開催について

平成30年2月8日
公正取引委員会事務総局
四 国 支 所

公正取引委員会は、将来を担う高校生に対し、早い段階で独占禁止法の役割を理解してもらうために、これまで全国各地の高等学校において、当委員会の職員による「高校生向け独占禁止法教室」を開催してきました（別紙参照）。

このたび、公正取引委員会では、その一環として、同教室を下記のとおり開催することとしました。

記

- 1 日 時 平成30年2月15日（木） 14：40～15：30
- 2 場 所 愛媛県立宇和高等学校
愛媛県西予市宇和町卯之町4丁目190番地1
- 3 講 師 公正取引委員会事務総局四国支所職員
- 4 対象者 愛媛県立宇和高等学校 第2学年 74名
- 5 内 容 シミュレーションゲームで学ぶ市場経済の仕組み、模擬立入
検査等

※ 今回の独占禁止法教室は、授業中のカメラ撮影、傍聴取材が可能です。
御希望の場合には、平成30年2月14日（水）までに、次の問い合わせ
先に御連絡ください。

問い合わせ先	公正取引委員会事務総局四国支所総務課
	電話 087-811-1750(直通) 土居, 森
ホームページ	http://www.jftc.go.jp/regional_office/shikoku/

独占禁止法教室（出前授業）の御案内

公正取引委員会では、実務経験を積んだ公正取引委員会の職員を高等学校の授業に講師として派遣して、独占禁止法の役割や市場経済の仕組み、競争の重要性等について、分かりやすく説明する「独占禁止法教室」を開催しています。

独占禁止法教室の授業内容は、生徒が企業経営者の立場になってライバル企業よりもより多くの消費者に販売できるような販売方法等を考え、競争の必要性を学ぶシミュレーションゲーム、身近な事例などを用いて分かりやすく説明していきます。また、公正取引委員会の模擬立入検査、模擬事情聴取を実演します。

授業内容（例）

① キーワードを学習

「独占禁止法」、「市場経済」、「競争」等のキーワードを示して、授業における理解目標を認識し、独占禁止法の概要、市場経済の仕組み、競争の必要性等を総合的に理解します。



② シミュレーションゲーム

グループに分かれてスマートフォン販売店を作り、販売価格やサービスを考える中で、自由に競争した場合と競争しなかった場合とではどのような違いがあるのかというシミュレーションゲームを通して、競争の必要性、競争による消費者のメリットを理解します。



③ 身近な事例紹介

身近な商品について、「カルテル」などの独占禁止法違反事例を紹介し、日常生活との結び付きを実感し、問題意識を高めます。



④ 立入検査・事情聴取の紹介

生徒に参加してもらい、独占禁止法違反のおそれのある企業に対して、公正取引委員会が立入検査や事情聴取を行うという実演を行い、公正取引委員会の活動や役割を理解します。

